

第34回 櫻杯^{さくら}争奪相撲選手権大会

手に汗握る真剣勝負



初夏の爽やかな風が吹く6月10日(日)、4月に強風で延期となっていた櫻ずもうが開催され、市営相撲広場には、県内から、たくさんの子自慢の子どもたちが集まりました。

優勝を目指して真剣勝負を繰り広げる子どもたちの様子に、観客の応援も熱が入り、会場は熱気にあふれていました。また、男の子と同じ土俵で勝負をする女の子の姿には、いっそう大きな声援があがりました。

佐渡ヶ嶽部屋からも佐渡ヶ嶽親方をはじめ、二人の力士(琴福寿、琴仁成)がこの櫻ずもうに駆け付けました。

昼に行われたぶつかり稽古では、大きな力士を相手に、子どもたち7〜8人が一斉に挑みかかりますが、びくともしません。

まわしをつかまれ、片手で軽々と持ち上げられてしまう子、優しい笑顔の力士に楽しそうにぶつかっていく子どもたちの姿に、会場では多くの声援と笑い声が上がっていました。





第57回 ～地域住民の生命・身体・財産を守る真剣勝負～ 倉吉市消防ポンプ操法大会

6月17日(日)、飛天夢広場(見日町/天神川左岸・竹田橋下流)において、「第57回倉吉市消防ポンプ操法大会」が開催されました。消防ポンプ操法大会は、各地区の消防団員が、初期消火のために必要な技術を身につけ、どんな状況下でも、迅速・確実・安全に消火活動を行うことができるよう消防ポンプの操作と取り扱いの訓練を重ね、成果を競うものです。各団員は、この日のために数か月前から厳しい訓練を重ねてきました。梅雨の晴れ間となったこの日、16分団(ポンプ車操法の部)4分団、小型ポンプ操法の部12分団が参加しました。各分団とも、指揮者の号令のもと、きびきびとした動きで、前方の火点として想定された標的に向かい、ホースを伸ばし、放水していきましました。また、この大会は、県大会への出場をかけた予選会も兼ねており、優勝した上井分団A(小型ポンプ操法の部)と関金第4分団(ポンプ車操法の部)は、7月15日(日)に、鳥取県消防学校屋外訓練場(米子市)で開催される、第58回鳥取県消防ポンプ操法大会に出場することになりました。



【ポンプ車操法の部】
優勝：関金第2分団



【小型ポンプ操法の部】
優勝：上井分団A

ポンプ車操法の部で優勝した関金第2分団は、関金町安歩、大鳥居、松河原、泰久寺の4地区を担当しており、毎週月・水・土曜日の午後6時30分から2時間程度の訓練を重ねています。分団長の鳥飼英之さんは、「団員みんな仕事をしながらも、毎週3日の訓練に参加してくれてい

ます。消防団員として地域を守っているという思いが受け継がれているのだとうれしく感じます」と語りました。

